

RIGHT チェックリスト

| セクション/トピック | No. | 項目 |
|------------------|-----|---|
| 基本情報 | | |
| タイトル/サブタイトル | 1a | ガイドラインと特定できるように、タイトルに「ガイドライン」または「推奨」と記述する。 |
| | 1b | ガイドラインの発行年を記述する。 |
| | 1c | スクリーニング、診断、治療、管理、予防などのガイドラインの目的を記述する。 |
| 要約 | 2 | ガイドラインに含まれる推奨の要約を記述する。 |
| 略語と頭字語 | 3 | 新しい用語や重要用語を定義し、必要に応じて略語や頭字語のリストを記述する。 |
| 作成責任者 | 4 | ガイドラインについて連絡が可能な作成者または著者を少なくとも1人は特定する。 |
| 背景 | | |
| 健康問題の簡潔な説明 | 5 | 有病割合/発生割合、罹患率、死亡率、および問題に起因する負荷（経済的負荷を含む）など、問題の基本的な疫学について記述する。 |
| ガイドラインの目的と具体的な目標 | 6 | 健康指標（例：死亡率や病気の有病割合）の改善、生活の質の向上、コスト削減など、ガイドラインの目的と具体的な目標を説明する。 |
| 対象集団 | 7a | ガイドラインの推奨によって取り上げられる主要対象について説明する。 |
| | 7b | ガイドラインにおいて、特別に配慮されているサブグループを記述する。 |
| 利用対象者とセッティング | 8a | ガイドラインの一次利用者（プライマリケア提供者、臨床専門家、公衆衛生実践者、プログラムマネージャ、政策立案者など）および、その他の潜在的なガイドラインの利用者を記述する。 |
| | 8b | プライマリケア、低所得国や中所得国、入院施設など、ガイドラインが意図しているセッティングを記述する。 |

| | | |
|--------------------|-----|--|
| ガイドライン 作成グループ | 9a | ガイドライン作成に貢献したすべての人がどのように選ばれたか、また各々の役割と責任（ステアリンググループ、ガイドラインパネル、外部評価者、システマティックレビューチーム、作成方法論者など）を記述する。 |
| | 9b | 役職、所属を含め、ガイドラインの作成に携わるすべての人を列挙する。 |
| エビデンス | | |
| ヘルスケア クエスチョン | 10a | 推奨の元となった重要な疑問を、PICO（対象、介入、対照、アウトカム）形式またはその他の適切なフォーマットで記載する。 |
| | 10b | アウトカムがどのように選択され、分類されたかを示す。 |
| システマティック レビュー | 11a | ガイドラインは、そのガイドラインのために特別に行われた新しいシステマティックレビューに基づいているのか、既存のシステマティックレビューが使用されているのかを示す。 |
| | 11b | ガイドラインの作成者が既存のシステマティックレビューを使用している場合は、それらを参照し、それらのレビューがどのように特定され、評価されたかを記述する。（検索方法や選択基準を提供し、バイアスリスクの評価方法を記述する。） |
| エビデンス総体の 確実性の評価 | 12 | エビデンス総体の確実性を評価するために使用された方法を記述する。 |
| 推奨 | | |
| 推奨 | 13a | 明確かつ正確で実用的な推奨を提供する。 |
| | 13b | 推奨に影響を与える要因、特にサブグループ全体での利益と害のバランスに重要な違いがあることを示唆している場合は、重要なサブグループについて個別の推奨を提示する。 |
| | 13c | 推奨の強さと支持するエビデンスの確実性を示す。 |

| | | |
|--------------------|-----|--|
| 推奨事項の根拠/説明 | 14a | 各推奨作成において、対象集団の価値観と希望が考慮されたかどうかを記述する。考慮されていた場合、それらの価値観と希望を引き出すために使用されたアプローチと方法を記述する。考慮されていなかった場合は、説明する。 |
| | 14b | 推奨作成においてコストと資源の関係が考慮されたかどうかを記述する。考慮されていた場合は、使用される具体的なアプローチや方法（費用対効果分析など）を記述し、結果を要約する。資源の問題が考慮されていない場合は、説明する。 |
| | 14c | 公平性、実現可能性、受容性など、推奨を作成する際に考慮したその他の要素について説明する。 |
| エビデンスと推奨作成過程 | 15 | 意思決定を行うためにガイドライン作成グループが使用したプロセスとアプローチ、特に推奨作成について説明する。（合意がどのように定義され達成されたか、投票が使用されたかなど） |
| レビューと品質保証 | | |
| 外部評価 | 16 | ガイドラインの草案が独立したレビューを受けたかどうか。もし受けていたら、レビューがどのように実施され、得られたコメントがどのように検討され、対処されたかを示す。 |
| 品質保証 | 17 | ガイドラインが品質保証過程を受けているかどうかを示す。もし受けていたら、その過程を記述する。 |
| 資金、利益の申告と対応 | | |
| 資金提供元と資金提供者の役割 | 18a | ガイドライン作成のすべての段階における具体的な資金(調達)源を記述する。 |
| | 18b | ガイドライン作成の様々な段階や、推奨の普及と実施における資金提供者の役割について説明する。 |
| 利益の申告と対応 | 19a | どのようなタイプの利益相反（経済的および非経済的）がガイドライン開発に関連しているかを記述する。 |
| | 19b | 利益相反がどのように評価され、管理されたか、ガイドラインの利用者が申告にどのようにアクセスできるかを記述する。 |

| その他の情報 | | |
|-----------|----|---|
| アクセス | 20 | ガイドラインや付録、その他の関連文書にアクセスできる場所を記述する。 |
| 研究のための提案 | 21 | エビデンスギャップを記述し、将来の研究のための提案を提供する。 |
| ガイドラインの限界 | 22 | ガイドライン作成プロセスの限界（開発グループは学際的または患者の価値観や意向は求められていないなど）を記述し、それらの限界が推奨の妥当性にどのように影響したかを示す。 |